

111mのバナナボート完成



完成した長さ111mのバナナボートを持ち上げる参加者

今年の冬は記録的な大雪に見舞われ、「もう雪はうんざり」という方も多いのではないだろうか。しかし、雪国に暮らす私たちにとっては、雪と上手に付き合っていかなければなりません。時には「雪に親しむ」こともあっていいのではないだろうか。

地球村冬物語

雪に親しむ



できたてのバナナボートを味わい大満足



クリームを塗っています

2月12日、つがる地球村で「地球村冬物語」が開催され、大勢の市民らがつがる市の「冬」と「雪」を満喫しました。
当日は好天に恵まれ、美しい雪景色が広がるつがる地球村。開会セレモニーに引き続き、恒例の巨大ロールケーキ「バナナボート」作りが始まりました。このイベントは、平成20年の50歳から始まり、21年が75歳、昨年は100歳を達成し、今年は更に記録を伸ばそうと、長さ111歳のバナナボートに挑戦。用意された材料はバナナ700本（105キ）、つがる市産つがるロマンの米粉を使用したスポンジ生地375枚（112キ）、生クリーム140キ。ずらりと並べられた机の上にスポンジ生地を敷き、約850人の参加者が生地



宝さがしゲームで雪の中に隠された景品を探す子どもたち



スキーで坂を滑降り池の水面を滑りきる「池ポチャゲーム」



パートナーを池の手前ぎりぎりまで止める「人間カーリング」

冬の思い出いっぱい

元気いっぱい雪の中を駆け回る子どもたち



物産販売のテントは大盛況



ドラム缶早押しゲームに奮闘



大人気つがるちゃんルーレット



フィナーレを飾る「よさこい知求群会」

冬物語のフィナーレには、歌手の今千里さん（青森市出身）のミニライブやよさこい知求群会による演舞が会場を盛り上げ、最後に花火が打ち上げられ今年の冬物語の幕を閉じました。

また、会場内には県内の道の駅や地元商店など多くの出店が軒を連ね、つがるちゃんルーレット、池ポチャゲーム、人間カーリング、豪華賞品が当たる大抽選会などのイベントも行われました。

の上にクリームを塗ってバナナを乗せ、ラップごと巻いて見事完成。参加者は、スタップの合図で一斉にバナナボートを胸の高さまで持ち上げ成功を祝い、できたてのバナナボートを全員で味わいました。